

保全活動日記

実施日
2022
1/10
(月・祝)

時間
10:00-12:00

天気
晴れ

参加人数
34
人

信太山丘陵里山自然公園では、多様性の高い三次草原の復元をめざして環境保全活動に取り組んでいます。

1月の保全活動は、西側エリアのツツジ林への日当たりを良くし、美しいツツジの花を咲かせるため、ネザサ等の草刈りを行いました。

西側エリアにおけるツツジ周辺の草刈り



before

ツツジと同じくらいの背丈にネザサが生長していました



after

ネザサは刈取られ、春には美しいツツジの花が咲くでしょう



活動中にメジロの「古巣」を発見しました



キキョウ

オミナエシ

昨年、ツツジ林の林床にキキョウやオミナエシの苗を植付けました



活動場所



① 現在市道信太5号線の整備工事が進められおり、鬱蒼としたアラカシ林が一部伐採されました。



古巣（一度使われた巣）の発見

ツツジ林周辺でネザサを刈取り中、鳥や小動物の「古巣（一度使われた巣）」を発見しました。

A：ウグイス



ネザサで作られている

B：カヤネズミ



ススキ等イネ科の植物で作られている

C：メジロ



外側が苔で覆われている

の「古巣」のようです。

※カヤネズミやウグイス、メジロは一度使った巣は再利用しませんが、生きものの中には好んで古巣を利用する鳥等がいるようです。

活動終了後、参加者は各々の「古巣」の大きさ、形、材料などを手に取って確認しました。(写真右)



マツの枯木の伐採

草原には病害虫などが原因と考えられるマツの枯木があります。そのままにしておくと倒木などの恐れがあります。これは、保全活動や散歩など西側エリアを利用する際、非常に危険です。そこで、保全活動の中で安全対策を十分にを行い、マツの枯木の伐採を行いました。



ロープで倒す方向を調整し伐採



伐採した木の切り口



枯木は細かく切断し処理します



切り株はカバン掛けに使用しています

市道信太5号線から西側エリアの草原を眺める

西側エリアに隣接する市道信太5号線は、昨年秋から整備工事が始まっています。

このため、西側エリアの道路整備区間の鬱蒼としたアラカシ林は伐採され、市道信太5号線から草原を見通せるようになりました。



アラカシ林の間から眺める西側エリアの草原



引き続きアラカシ林の間伐・剪定等を行います

▼「信太山丘陵里山自然公園」についての詳しい情報は、市のホームページをご覧ください。

以下のワードで検索 /

信太山丘陵里山自然公園

検索



◀ QRコードで読み取り

信太山丘陵里山自然公園 新型コロナウイルス感染防止対策

- 三密（密閉、密集、密接）を避けること。
- 原則として、マスクを着用すること。ただし、熱中症対策に配慮し、「水分」をこまめにとり、「塩分」をほどよくとること。また、活動中に苦しくなった場合はマスクを外して活動する、または休憩すること。
- 必ず軍手を着用し、活動前・後の必要に応じて、準備したアルコール等の除菌液・シートにより手の消毒を行うこと。
- 草刈機、カマ、剪定鋏などの道具や拡声器など、他の人が触れる可能性のある物には除菌シートにより消毒を行った後、再度使用するよう心掛けること。
- 新型コロナウイルス感染症の症状の疑いがある時、或いは体調がすぐれず、咳やくしゃみ、発熱がある時は活動に参加しないこと。